

子どもと女性の健康相談室

99



福島医大ふくしま子ども
女性医療支援センター
副センター長
横山 浩之氏

今回は思春期のことを取り上げたいと思います。思春期になると、まず身体が大人と同じになります。

今回は思春期のこと失敗につながることを分ける子どもは、自己判断を重要視するので、この様子が大人から見ると反抗している

「自律」とは自分の努力で自分や自分の周囲をコントロールしているという感覚を養うことです。つ

ています。思春期には、大人の保護のもとで失敗を保証し、自己責任を習得することが求められます。

いのですが、好きなことを仕事にするには覚悟がいります。仕事には苦勞がつきものなので、好きなことが嫌いなことに変わってしまうかもしれないからです。本人の長所を生かす形で就業すれば、苦勞しても長所は変わらず残っています。この違いは大きいと思います。

試行錯誤を認めよう

子どもは自分が一人前になったと誤解し、大人と対等に行動しようとして、その背伸びした行動が失敗を招くと周囲の大人は分るので、意見しますが、

ように見えるので、二次反抗期と呼ぶのでしよう。

つまり、周囲の努力で本人がうまくいっても、「自律」に反するので、心理発達を妨害することになるのです。

厚生労働省の調査によると、福島県の新卒者の就業3年未満離職率が上昇し、全国平均より大幅に高くなっています。外来で診ていても、仕事に好きなことを選ぼうとする子ども

割があります。思春期の心理発達課題は「自己回復したりして生活し

も失敗を回避したり、回復したりして生活し

もちろん、それでもい

てくたさい。

思春期

思春期

思春期

思春期

思春期